



ネコバリ（根古波離）岩

60年の時空を超えて未来へ



五城目町議会議長

小林 正 志



旧5か町村が合併し、新生五城目町が誕生して60周年を迎えました。

今、地球規模で気候変動が起きていると思われる中で、幸いにも五城目町は過去においても大災害の発生もなく、自然と共生しながら、その歴史を刻み続けてまいりました。

平成の時代に入り、天皇皇后両陛下をはじめ皇太子殿下、各皇族方の御来町を賜ったことは、町民に大きな激励と勇気を与えていただいたものでありまして、崇敬の念を深くするものであります。

少子高齢化の課題は余りにも大きく、多くの施設を抱える本町にとって利活用と同時に人口減少に備えた「まちづくり計画とその実践」は急務であります。町民、町当局、議会は夢と希望を実現するために、心を一つに英知を結集しなければなりません。今こそ、誰もが「住みたい、住んでみたい」と願うような町を目指して頑張ろうではありませんか。

議会においては、議会改革調査特別委員会で議会映像システムの導入、時代に即応した傍聴規則の全部改正、議員定数2名減の14名への削減、条例・会議規則の改正、更にはペーパーレス化に向けたタブレット導入計画など次代に向けた不断の努力を重ねております。

議会の存在意義は、最終議決機関としての役割りを果たすことは勿論、町当局と切磋琢磨しつつ町発展に尽くすことであります。今後とも、自然豊かで人情厚い五城目町を、子々孫々に伝えていくのが責務と存じております。

本誌は「議会30年誌」に続く、昭和60年からの実に30年に亘る記録集であり、今後の町発展の礎となりますよう祈念すると共に、発刊にあたり御労苦をお掛けした編集委員並びに議会事務局の皆様に深謝し、御挨拶いたします。